

11

職場での行動変容を促す 主査級職員研修

研修のねらい

- 時代の変化を読み取り、リーダーシップを発揮するためのコミュニケーション力を体得します。
- 主査級に期待される役割を自覚し、実践していこうという気概が生まれます。
- これまでの「成長」が実感でき、これからの「成長」への道筋が立てられます。

“右肩下がり自治体経営の時代”には、持続可能な地域社会の発展のために、戦略的思考に基づく政策選択と効率的な政策執行が求められ、行政サービスを提供する責任者にはそれが真に重要な行政サービスと説明できるだけの価値的判断基準が必要です。主査級職員には、業務改善や事業改善を積極的に推進し、効率的な組織運営を図る行政改革活動の推進力となることが求められます。そのためにも、職務遂行能力を高め、職場内においてリーダーシップを発揮することが期待されています。

この研修では、主査同士の横のコミュニケーションの充実、情報共有や連携力の強化を図るとともに、主査の責務と役割、開発すべき能力を、グループ討議や実習を通して学ぶとともに、今後の自治体職員としての“在り方”についても深く考える場とします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	<p>■ 地方自治体の今日的状況と課題から主査級の立場と役割を考える</p> <p>1. 新しい時代への対応</p> <p>(1) 地方自治体の役割</p> <p>(2) 環境変化からこれからの自らの自治体を考える</p> <p style="text-align: center;">◇ グループ討議 ◇ 「虫の眼・鳥の眼・魚の眼」</p> <p>2. 私たちへの期待</p> <p>(1) 主査級の責務と役割</p> <p>(2) 3方向からの期待</p> <p>(3) 求められる能力</p>	<p>5. タイムマネジメントの実践</p> <p>(1) 業務の生産性を高める</p> <p>(2) アポ管理とスケジュール管理</p> <p>(3) 仕事のゴールの明確化</p> <p>(4) 仕事の優先順位とは</p> <p style="text-align: center;">◇ 実習・グループ討議 ◇</p> <p>■ より良い人間関係の創造をめざして</p> <p>6. リーダーシップの発揮</p> <p>(1) リーダーシップとは</p> <p>(2) 変革型リーダーシップ</p> <p>(3) 同僚及び後輩へのフィードバック</p>
午後	<p style="text-align: center;">◇ 演習 ◇ 「概念化能力を鍛える」</p> <p>■ 仕事の本質に接近し、仕事の進め方を再考する</p> <p>3. 自治体組織の特性</p> <p>(1) 自治体組織と企業組織、その違い</p> <p>(2) 自治体職員としての仕事の仕方</p> <p>4. 職務の遂行者として</p> <p>(1) 組織活動の基本</p> <p>(2) 仕事のPDCA</p> <p>(3) 進捗管理のポイント</p> <p style="text-align: center;">◇ グループ討議 ◇ 「PDCAを機能させるには」</p>	<p>7. 組織コミュニケーション</p> <p>(1) 4つのシッブ</p> <p>(2) フォロワーシップのバランス</p> <p>(3) ライフポジション</p> <p>(4) 褒めると認める</p> <p style="text-align: center;">◇ 演習 ◇ 「プラスワンのメッセージ」</p> <p>8. 行動計画書の作成 「明日からの行動宣言」</p> <p>9. まとめ</p>